

2019年1月17日

駅における携帯翻訳機の試行導入について

北海道にお越しになる外国人のお客様は年々増加しており、弊社の駅も様々な国からの外国人のお客様にご利用いただいています。このたび、弊社の外国語による案内サービスの充実を図るため、以下のとおり携帯式の対話型音声翻訳機を道内の駅に試行導入しますのでお知らせします。

1. 導入の目的（用途）

外国人旅行者の皆様に対する言語面での案内サービスの充実
（きっぷ、列車運行情報、沿線情報のご案内など）

2. 導入する携帯翻訳機

AI 通訳機「POCKETALK®（ポケットーク） W」

- ・ 世界 74 言語に対応
- ・ 小型・軽量の手のひらサイズの通訳機（110×59.8×15.8mm）
- ・ ボタンを押しながら話しかけるだけで通訳がいるかのように対話が可能

※「POCKETALK（ポケットーク）」はソースネクスト株式会社の製品です。

3. 導入する駅

札幌駅、新千歳空港駅、小樽駅、南千歳駅、富良野駅、倶知安駅、登別駅、洞爺駅、新函館北斗駅（9 駅：12 台）

4. 導入スケジュール

1 月下旬に各駅に導入予定

5. その他

試行導入の状況を見て、以後の導入拡大を検討します。



POCKETALK®（ポケットーク） W